

「将来にわたって 輝き続けるまち 赤穂」の創造に向けて

平成22年度は、「快適なまち・快適なとき・快適な暮らし 赤穂の創造」の実現を目指し、市政の5本柱である・快適なまちづくり・活力あるまちづくり・すこやかなまちづくり・こころ豊かなまちづくり・自律と協働のまちづくりを、着実に推進し、『水とみどりにつつまれた歴史文化交流都市』の建設に向けて、厳しい財政環境の中、人口減少社会に的確に対応するため施策・事業の優先順位の厳しい選択と集中を行い、財源の確保と行財政の健全運営に配慮しながら、市民福祉の増進に努めました。

平成22年度における財政状況は、歳入において、企業収益の回復による法人市民税の増収などにより、一般財源の基幹である市税収入は微増となりました。また、地方交付税に臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税総額は大幅な増となりました。

歳出については、有年地区土地区画整理事業、密集住宅市街地整備促進事業、塩屋児童館建設事業など、生活関連基盤の整備や地域振興の更なる発展に資する施策等に積極的に取り組みました。

また、財政構造の健全化を図るため、事務経費の一層の節減を行い、簡素でより効率的な財政運営に努めるとともに、「第6次赤穂市行政改革大綱」に基づき、中長期的な視点に立った取り組みを行いました。

各会計別決算状況

(1万円未満四捨五入)

会計区分	歳 入			歳 出			
	22年度	21年度	伸び率%	22年度	21年度	伸び率%	
一 般 会 計	203億 5,488万円	197億 9,157万円	2.8	199億 7,253万円	195億 916万円	2.4	
特 別 会 計	国民健康保険事業	54億 71万円	52億 5,218万円	2.8	51億 7,796万円	50億 5,864万円	2.4
	老人保健医療	3,516万円	1,918万円	83.3	1,114万円	965万円	15.4
	職員退職手当管理	11億 653万円	7億 5,498万円	46.6	11億 653万円	7億 5,498万円	46.6
	公共下水道事業	26億 6,887万円	34億 8,462万円	△ 23.4	26億 6,882万円	34億 8,442万円	△ 23.4
	農業集落排水事業	2億 2,439万円	2億 5,485万円	△ 12.0	2億 2,439万円	2億 5,485万円	△ 12.0
	墓地公園整備事業	819万円	1,576万円	△ 48.0	819万円	1,576万円	△ 48.0
	介護保険	31億 6,209万円	29億 9,454万円	5.6	31億 2,075万円	29億 5,888万円	5.5
	駐車場会計	1億 2,223万円	1億 2,261万円	△ 0.3	1億 2,223万円	1億 2,261万円	△ 0.3
	土地区画整理事業清算金	235万円	420万円	△ 44.0	235万円	420万円	△ 44.0
	後期高齢者医療保険	5億 4,864万円	5億 2,709万円	4.1	5億 3,931万円	5億 1,671万円	4.4
小 計	132億 7,916万円	134億 3,001万円	△ 1.1	129億 8,167万円	131億 8,070万円	△ 1.5	
企 業 会 計	病院事業	97億 4,738万円	96億 5,643万円	0.9	104億 8,708万円	103億 949万円	1.7
	介護老人保健施設事業	3億 3,346万円	3億 1,368万円	6.3	3億 3,291万円	3億 1,229万円	6.6
	水道事業	15億 7,286万円	11億 944万円	41.8	18億 8,454万円	14億 6,149万円	28.9
	小 計	116億 5,370万円	110億 7,955万円	5.2	127億 453万円	120億 8,327万円	5.1
合 計	452億 8,774万円	443億 113万円	2.2	456億 5,873万円	447億 7,313万円	2.0	

(注：企業会計には消費税額を含む)

平成22年度市民1人当たりの決算額 **896,165円**

※平成23年3月31日現在の住民基本台帳人口50,949人で計算したものです。

一般会計 **392,010円**

特別会計・企業会計 **504,155円**